

優秀賞

リフォーム前後の写真

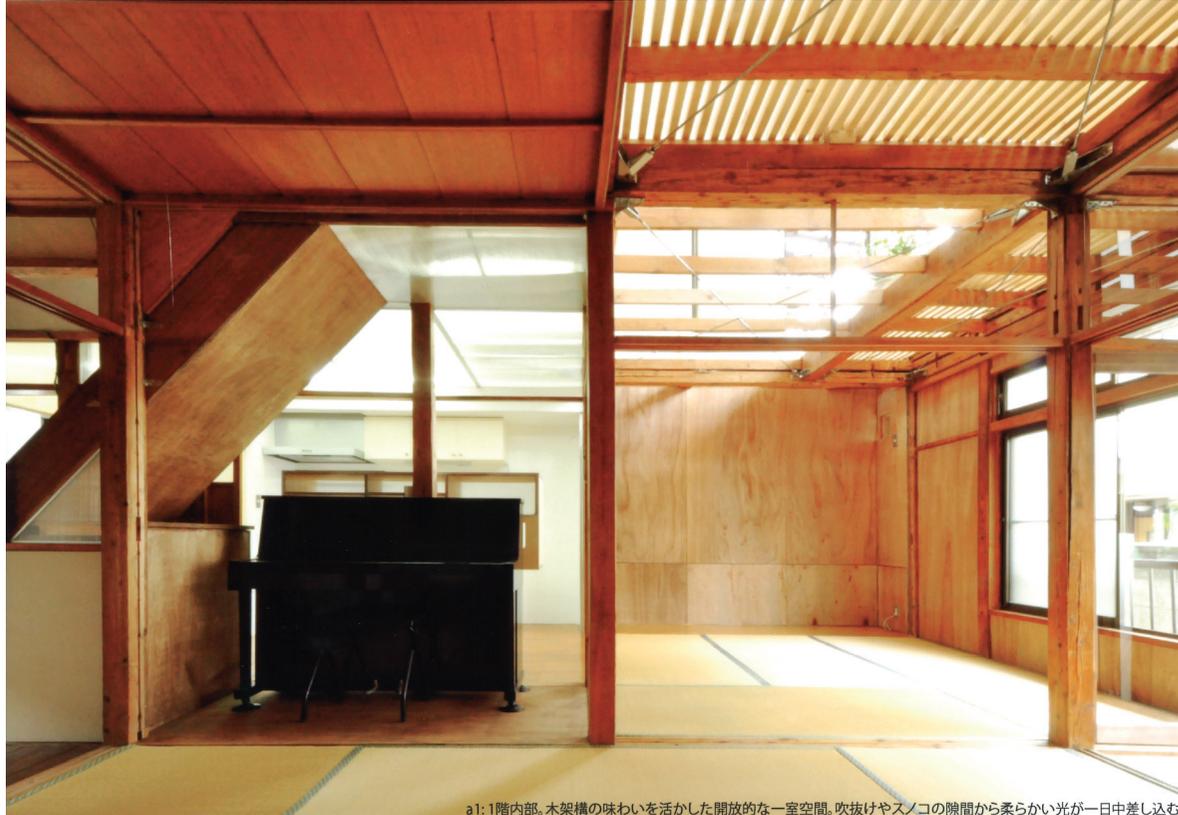
タイトル スノコ・ハウス
—光と風をとり込むインナー・オープンスペース—

タイプ 持家一戸建

構造 在来木造

講評

「本当に必要な部分だけを吟味する」日中でも照明が必要だった1階へ光と風をとり込むために本当に必要なものを見定め、床・壁・間仕切りをバツサリと撤去した。リフォーム後は1階のキッチンからも青空が見える。



a1: 1階内部。木架構の味いを活かした開放的な一室空間。吹抜けやスノコの隙間から柔らかな光が一日中差し込む。



a2: 2階インナー・オープンスペース。吹抜けとスノコ敷きの白い空間。光と風をとり込み、1階へと導く。室内でありながら半外部のような自由な空間。



a3: 木の空間の上に広がる白い空間。a4: キッチン・リビング・ダイニングの天井。a5: 1階床は1階へまで連続し、住人の趣味である鉢植え置場にもなる。b1: 和室2 b2: キッチン a6: 新浴室 b3: 和室5 b4: 浴室

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

■動機：高齢の夫婦が住む築約50年の住宅。日中でも照明が必要な1階の暗さ、小部屋が多く使いにくいプラン、不便で古い水廻り、浴室床の段差、脱衣室がないこと、耐震性などの改善が求められた。

■工夫点：予算が限られていたため、新たな造作は最小限にとどめ、むしろ不要な部位を注意深く取り除くことで、2階建の高さや既存の木架構自体を活かしたシンプルなデザインを心がけた。採光条件を改善するために、2階南側の床板と壁を撤去して吹抜けとスノコ床張りとし、かつ壁面と天井を白く塗装することで、大きな光溜まりの半外部のような多目的空間（インナー・オープンスペース）とした。

性能向上の特性
耐震性能、バリアフリー性能、温熱性能、室内空気環境、室内採光環境、立体的空間利用

特に配慮した事項

吹抜けとスノコ床による立体的な空間利用と採光条件の改善を図った。SUS接合金物、12mm構造用合板等による耐震補強を行った。浴室床の約30cmの段差を解消した。1階床下に断熱材を設置した。

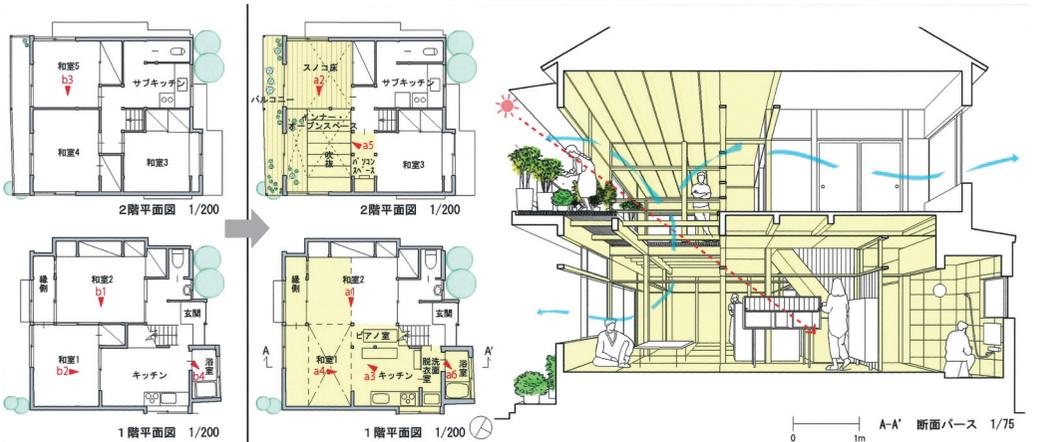
1階は間仕切り壁をほぼ全て撤去して耐震補強を行い、既存の木架構を活かした素朴な木質系の仕上げとした。

■住宅の価値を向上させた内容：高齢者の生活の中心となる1階の上に、光と風をとり込む開放的なインナー・オープンスペースを重ねて、立体的に空間を活用することで、住宅密集地でありながらも明るく豊かな居住空間の獲得を実現した。

■施主の感想：広くなったように感じる。1階も明るくなり、キッチンからでも2階窓を通して空が見えて気持ちが良い。植木を室内でも眺められる。水廻りも明るく使いやすい。

データ	
所在地	東京都新宿区
築後年数	50年
施工期間	90日間
該当工事面積	37.31㎡ / 総工事床面積 37.31㎡
該当部分工事費	300万円 / 総工事費 300万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 人 / 65歳以上： 2人 / 15歳未満： 人 / ベット： 人
設計会社	神奈川県中井研究室
担当者	中井 邦夫
施工会社	(株)小松工務店、神奈川県中井研究室
担当者	小松 一雄、中井 邦夫

リフォーム前 | リフォーム後



リフォーム部位： 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共用部分